

夕焼句

夕焼

木々朗

露草を瀬戸の小壺に挿しにけり
水引草ずらして図面広げをり
月見豆匂とて飽かず茹でにけり
同行会鬼灯市も含みけり
夕焼や幻想のごと見てをりぬ

雑詠 雨のラジオ体操全国祭

細田安治

駒沢に ラジオ体操 全国祭
体育館 人混み体操 二千人
動かせば ぶつかる手足 どう動く
ひとひとも 工夫一つで 動きよく
手も足も 互い違いで 元気よく
なにごとも 智慧出せ動け 支障なし



ツユクサ (露草)

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>